

たんちよう

JAくしろ丹頂
広報誌

vol.111
2016.12

くしろ丹頂

ふれあいサロン “つるりん” オープン!!



テープカット (左から) 吉田女性部長、山田鶴居村副村長、武藤組合長、ホクレン河原所長、松下女性部鶴居支部長 (於:Aコープつるい店)

CONTENTS

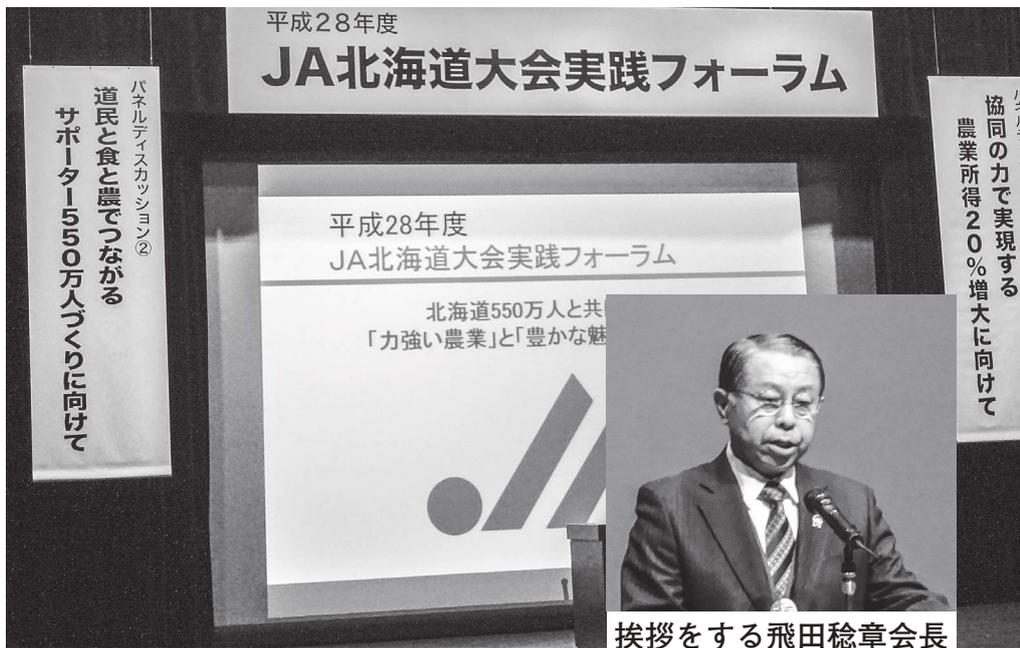
- JA北海道大会実践フォーラム _____ 1
- 日本獣医生命科学大学「酪農経営アンケート結果報告・繁殖技術向上セミナー」 _____ 2
- JA釧路地区女性協議会 設立60周年記念式典
釧路丹頂農協酪農振興会視察研修 _____ 3
- ふれあいサロンつるりんオープン
JA青年部鶴居支部「ふるさと給食出前授業」
職員コンプラ研修会 _____ 4
- 普及センターだより _____ 5
- JA全中 意見広告 _____ 6
- JAグループ通信 _____ 7
- 理事会報告/生乳生産実績/鶴居村交通安全村民大会 _____ 8
- 年末年始日程表 _____ 9



乳牛の模型を使って搾乳体験
鶴居小学校「ふるさと給食出前授業」

大会決議事項の更なる実践と発信へ向けて!!

～ JA北海道大会実践フォーラム～



JAグループ北海道は、十一月二日、札幌市でJA北海道大会実践フォーラムを開催し、全道のJA、連合会、青年・女性組織等の代表者約750名(当JAから4名)が参加し意思統一の徹底を図りました。大会にあたり、JA北海道中央会の飛田稔

挨拶をする飛田稔章会長

章会長は、「今年、北海道農業は、大雨や度重なる台風により甚大な被害を被り、被害推計総額は農業分野だけで500億を越す未曾有の被害でありました。取り組むべき課題は多いがJAグループ北海道として、国の事業を活用しながら組合員が前を向いて営農が出来る様、全力でサポートさせて頂きます。TPPについては、JAグループ北海道として国会審議を通じて合意内容の全容と影響を明らかにし、拙速な批准はしない様に求め、生産者の不安を払拭し将来にわたり安心して農業を継続できる環境を全力で作ります。昨年、JA北海道大会で決議された「農業所得20%増、新規担い手の倍増、食と農のサポーター1550万人づくり」の実現に向けて着実に実践することで、農家戸数農家人口を減らさずに安全安心な農畜産物を安定供給するJAグループ北海道の使命を将来にわたって果たして参りたい。」と述べました。



有識者によるパネル討議

「農業所得20%増」「サポーター1550万人づくり」など目標達成へ向けた取り組み事例をJAいわみざわとJAきたみらいが報告し、有識者らと交えパネルディスカッションを行ないました。

JA北海道信連、ホクレン、厚生連、共済連、中央会の代表がそれぞれ実践について報告、決意を述べ、引き続き決議事項の実践を加速させることを確認しました。

経営の効率化・労働生産性の向上等を提言

～ 目獣・酪農経営アンケート結果報告・繁殖技術向上セミナー～



説明する小澤壯行教授

十一月十五日、幌呂支所で日本獣医生命科学大学の教授及び学生による「アンケート分析結果報告・繁殖技術向上に関するセミナー」が開催されました。同大学と当JAが今年三月に結んだ産学連携協定に基づく取り組みの一環で、組合員や関係者約40名が参加し、同大学動物科学科の教授三名と学生五名により、分析内容などについて発表されました。

アンケートは、八月に生乳出荷者1

44戸に実施し、うち135戸からの

回答結果について小澤壯行教授は、当

JAの特徴として、経営者の平均年齢

は52歳と比較的若く、担い手確保率が

62%で全道平均の34%、全国平均の30

%と比較しても高く「当面は安定的な

経営が可能」。また、労働力一人当た

りの経産牛頭数は平均23頭、出荷乳量

は平均年178トンで、全道平均の26

頭、216トンよりやや低く、「労働

生産性の改善、作業効率の向上・省力

化」を提唱しました。

同学部4年の長清日佳里さんは、性

選別精液・性別別受精卵の利用意向等

について分析し、性別別技術の利用者

は担い手確保率が高く、労働効率が良

い傾向を示していると発表しました。

同学部4年の柳原奈央さんは、酪

農家のライフスタイルとしてニュージー

ランドで積極的に取り組まれている

OAD（1日1回搾乳）について説明しました。

牛島 仁教授による講演「乳牛の空胎期間短縮に向けた繁殖技術の活用」では、①人工授精手順の再確認、②性選別精液利用の注意点、③空胎期間短縮への特效薬はないと題し、参加した組合員の方々からは積極的な質問や意見が多く出され、大変有意義なセミナーとなりました。



熱心に聞き入る参加者

設立60周年の歩みを祝う!!

～ J A 釧路地区女性協議会・記念式典～



根釧牛乳で乾杯

記念講演では、食料・農業・農村ジャーナリスト大金義昭氏が「楽しいJA女性組織」と題し講演されました。各単組10年間の活動報告では、当JAから四支部（鶴居・高橋博子さん、幌呂・松井恒子さん、白糠・對木美由紀さん、音別・成田洋子さん）からそれぞれ発表がありました。さらには、家の光記事活用体験発表等も行なわれ、記念式典は盛会裡に終了しました。

J A 釧路地区女性協議会は十二月五日、釧路市内のホテルで設立60周年記念式典を開催しました。管内6JAから関係者約90名が出席し、同協議会第17代会長の安藤幸子さん（幌呂）、第18代会長の橋村美和子さん（鶴居）らに感謝状と記念品が贈呈されました。



感謝状を受ける安藤幸子さん（右）

来賓の釧路地区農協組合長会の河村信幸会長は、「今後も豊かな地域社会づくりと生きがいのある生活を目指し活動して頂きたい。」と祝辞を述べました。

釧路丹頂農協酪農振興会 視察研修

十一月七・八日の二日間、当JA酪農振興会は、19名の参加者で道央方面へ視察研修を実施しました。一日目は、札幌市東区にある「雪印メグミルク酪農と乳の歴史館」で乳製品の製造工程を見学しました。

二日目は、江別市の(株)Kalm^{カーム}角山^{かくやま}で、搾乳ロボット施設や管理システム等を視察し、二日間にわたる研修が大変有意義なものとなりました。



(株)Kalm角山を視察

ふれあいサロン“つるりん”（鶴輪）オープン!!

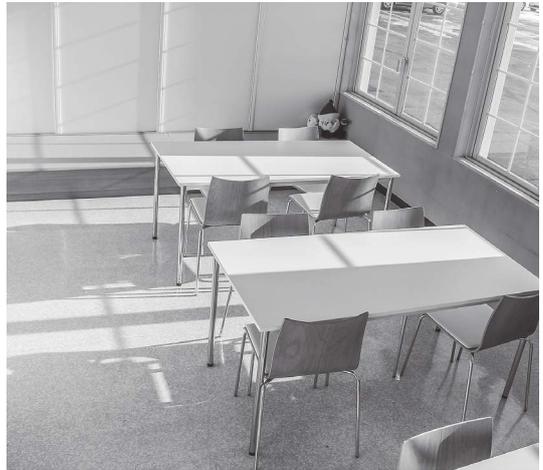
～人と人のふれあいの輪が続くことを願い～

十二月二日、Aコープつるりん店内に、「ふれあいサロン」がオープンしました。

組合員及び地域の皆様方との交流を目的に開設され、このサロンを通じて人と人のふれあいの輪が広がることを願って「つるりん」く鶴輪く同店の女性職員がネーミングしました。

今後、このサロンを通じて、交流の輪が末永く続く事を願うとともに、多数のご利用をお待ち致しております。

（サロンの利用時間は、月々金・9時～5時、貸切りで使用する場合は事前にAコープつるりん店に予約をお願いします。）



昼のこしかけスペースも完備



説明者の増田一真さん(左)と菱沼恭平さん

「ふるさと給食出前授業」を実施
青年部鶴居支部

十一月二十四日、鶴居小学校で、よつ葉乳業(株)根釧工場主催による「ふるさと給食出前授業」が行なわれました。

小学三年生を対象に食育教育の一環として、当JA青年部鶴居支部の部員とよつ葉の担当者が講師となり、「牧場のしごと・牛乳のできるまで・ミルクからできるさまざまな製品」について、子供達はたくさん学びました。

十一月二十九・三十日、本所及び白糠支所で全職員と子会社を対象としたコンプライアンス・個人情報取扱研修会が開催されました。講師にJA北海道中央会根釧支所 監査士 元木貞貴氏を迎え、不祥事発生のメカニズム、個人情報漏えい対策等について研修しました。

今後も研修会等を継続実施し、不祥事未然防止対策に取り組んで参ります。



職員コンプライアンス研修会を実施

今年の粗飼料の使い方
(MSI・TDMをこし編)

今年は大候不順の影響で粗飼料の不足や品質低下を心配する声が増えています。

今月は、先月の牧草編に続きサイレージ用とうもろこしの使い方について考えたいと思います。

1 生育及び収穫作業の経過

・播種作業はほぼ平年並みに終わったが、六月の低温・日照不足で生育が停滞し、雄穂や絹糸の抽出期が一週間程度遅れた。加えて、八月中旬の日照不足が受粉に影響を与え、不稔が多く見られた。

・八月中下旬の台風により沿岸部では塩害が見られた。また、多くの圃場で葉の損傷が認められた。葉にごま葉枯れ様の症状が多く見られたが、菌は検出されておらず、養分吸収不足と推測された。

・登熟は八〜九日遅れたが、ほぼ黄熟期に達した。収穫期は一週間程度の遅れとなった。

2 収量(表1)

・生収量は、4001kgと平年の六九%となった。

・TDN収量は、601kgと平年の57%となった。

以上のように大幅な減収となったため、サイレージ確保量の不足が心配されます。

表1 H28年中西部支所管内の収量調査結果
(市町村、JA、普及センター調査による)

	H28	平年	平年比
生収量	4,001	5,828	69%
TDN収量	601	1,058	57%

※収量はkg/10a

3 栄養価

中西部支所管内の収穫時分析データから、今年の傾向を見てみましょう(表2)。

・CP、TDNはそれぞれ全道対比97、98%とほぼ全道並みであった。

・NDFは全道対比110%と高く、デンプン含量は全道対比78%と大幅に低い状況であった。特に最大値と最小値の差が大きいことが特徴であった。その理由として、八月上旬の台風による塩害や倒伏で

未熟のまま収穫した圃場や、長雨・日照不足により受粉がうまくいかず子実収量が減少した圃場では、茎葉部の割合が高いためNDFが高く、平年並みのデンプン蓄積が得られなかったことが考えられた。

表2 平成28年度とうもろこしの収穫時分析値
(釧路中西部管内、ホクレン受付分 17点)

	平均	最大	最小	全道平均	全道対比
C P %	7.6	8.0	7.0	7.8	97%
TDN %	69.5	71.9	65.9	71.2	98%
NDF %	47.4	54.5	42.8	42.9	110%
デンプン%	21.1	29.4	10.5	26.9	78%

以上の結果は、あくまで収穫時点での傾向ですので、サイレージとして使用する際はサイロの開封後に粗飼料分析を行い栄養価の把握に努めましょう。

4 粗飼料利用計画を立てる

・今年の在庫量を確認し、不足が見込まれる場合は①購入、②給与量の調整、③給与期間の短縮を検討し、年間計画を立てましょう。

① 購入する場合

飼料会社等から供給量や価格、品質の情報を収集する。

② 給与量を調整する場合

種付け前の牛や高泌乳牛に重点的に給与する。または、エサの変動を防ぐために通年で一律に給与量を減らす。

③ 給与期間を短縮する場合

最もエネルギーを必要とする厳冬期を中心に給与する。代替となるエネルギー飼料(圧片とうもろこしなど)やグラス等の確保も必要です。対応が後手に回らないように早めの手を打つことが重要です。

5 その他

次の点にも留意しましょう。

- ・滞水が見られた圃場では、排水改善対策(サブソイラ施工等)を実施する。
- ・塩害を受けた圃場のサイレージは粗飼料分析でナトリウム濃度を確認する。
- ・収穫時に土の混入が懸念されるサイレージを給与する際はカビ毒吸着剤の使用を考慮する。

(平成28年11月作成)

JAグループは、 日本の農業の未来を作り、 食の安全・安心を守ります。

食と農を基軸として地域に根ざし、
消費者の皆様へ安全・安心な食料をお届けしています。

JAグループは、協同組合です。
協同組合は、組合員の意思に基づき、運営する民間組織です。
他の民間組織と同様に自ら事業展開を行います。
他者が決めるのではなく、自ら進んで改革をすすめます。

わたしたちは、農業生産の拡大、地域の活性化を目標とし、
全国各地のJA・連合会で役割分担をしながら
創意工夫ある取り組みを進めています。
精米や青果の直販や外食・中食企業等への販売強化で
消費者までの距離を縮めます。
農畜産物の海外輸出を拡大して需要をつくります。
製造・流通コストを下げ、低価格商品を増やします。
JAは、農家と地域を支える金融機関として
組合員の経営や暮らしを応援します。

さらなる自己改革に向けた 重点実施分野

- 担い手経営体の
ニーズに応える個別対応
- マーケットインに基づく
生産・販売事業方式への転換
- 付加価値の増大と
新たな需要開拓への挑戦
- 生産資材価格の引き下げと
低コスト生産技術の確立・普及
- 新たな担い手の育成や
担い手のレベルアップ対策
- 営農・経済事業への
経営資源のシフト



JAグループは、これまでも、そしてこれからも、
消費者の皆様や生産者の皆様、
そして地域の皆様のために、さらに加速して改革を続けます。



毎月、JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介しておりますが、今回は、11月2日に開催したJA北海道大会実践フォーラムで発信した「JAグループからのメッセージ」をお伝えします。

「JA北海道大会実践フォーラム」では、昨年の第28回JA北海道大会の決議事項に対する実践機運を高めることを目的に「農業所得20%増大」と「550万人サポーターづくり」をテーマとするパネルディスカッションと、JAグループからのメッセージとして決議事項の実践状況を発信しました。

以降、メッセージの内容を掲載します。

JA北海道中央会

私たちは大会決議事項である「所得20%増」「担い手倍増」「サポーター550万人づくり」「JAグループの人づくり」等、息の長い取り組みを続けて行かなければなりません。

今後も、協同の理念のもとで着実に実践を積み重ね、農業・JAの意義を積極的に発信し続けながら、北海道農業の価値を高めて行くことで道民や国民に信頼され愛されるJAグループになることを目指して参ります。



JA北海道信連

新規担い手倍増、農業所得増大の取り組みとして、各連合会が連携しての「後継者親元就農」「ICT導入」等へ助成支援する「担い手確保・育成支援事業」の実施や後継者等向けに借換による償還負担軽減を図る資金を創設しました。



また、550万人サポーターづくりとしてコンサドール通帳の発行、親子料理教室、「ドドン貯キャンペーン」の実施等、JAファンづくりに取り組みました。今後も、選ばれるJAバンクを指して取り組んでまいります。

ホクレン

「販売・購買・営農支援を三位一体とする事業運営」を基本戦略とし、「価値向上」「生産性向上」「コスト低減」の実践を通じて「農業所得の向上」を目指すとともに、経営の合理化による配当の向上、主要品目全般における手数料の引き下げ、各種奨励施策の実施など、生産者・会員JAへの最大限の還元を努め「皆様に選ばれるホクレン」を目指します。



JA共済連北海道

「相互扶助」を事業活動の原点に「ひと・いえ・くるまの総合保障」により、組合員・利用者が健康で安心して暮らせる地域社会づくりに貢献しています。

今後も引き続き農業経営に貢献する取り組みと、JA支援の強化を重点事項として、地域密着の社会貢献活動を展開しながら組合員・利用者との結びつきを深めてサポーター550万人づくりに取り組みます。



JA北海道厚生連

厚生連は、設立以来「農民の健康保持と生活文化の向上」を目指し、安心して暮らせる地域社会と農村の環境づくりに寄与してまいりました。

今後についても、地域のつながりを守る生活基盤としての機能発揮と、道民と食と農でつながるサポーター550万人づくりへの貢献を「医療・健康管理・高齢者福祉・配置薬」の視点から推進し、取り組んでまいります。



理事会報告

11月定例理事会 平成28年11月28日(月)

報告事項

1. 専決事項及び諸会議について
2. 各委員会・諸会議等について
3. 10月末財務状況について
4. 事業の実施処理状況について
5. 理事に対する資金の貸付について
6. 大家畜特別支援資金による借換対象資金に係る延納利息の減免について

- 議案第2号 固定資産の取得について
 議案第3号 草地整備改良事業費の支出について
 議案第4号 経済預け金の預入について
 議案第5号 諸規程等の一部変更について
 ※以上全件原案通り承認されました。

その他協議事項

1. JA役員道内視察研修について
2. 当面の業務日程について

付議事項

- 議案第1号 融資の承認について

■平成28年度 生乳生産実績(11月)

	月計乳量(kg)	11月前年比(%)	累計乳量(kg)	累計前年比(%)
釧路丹頂農協	7,893,232.1	95.9	67,648,670.2	100.0
(鶴居地区)	2,744,957.4	97.9	23,166,005.6	99.8
(幌呂地区)	2,106,768.9	97.3	18,041,998.6	102.3
(白糠地区)	1,606,167.4	93.2	13,995,130.6	98.2
(音別地区)	1,435,338.4	93.4	12,445,535.4	99.3
管内計	41,232,290.6	96.6	359,548,332.8	101.3
(前年度管内計)	42,678,563.3		354,834,599.4	



講演の様子

十一月十八日、鶴居村総合センターで、鶴居村交通安全村民大会が開催されました。
 参加者全員で、交通事故犠牲者に黙祷を捧げ、釧路警察署交通課から、「高齢者の交通事故防止」と題した講演が行なわれました。
 最後に交通安全宣言が行なわれ、交通事故の追放・撲滅を誓い合いました。

鶴居村交通安全
村民大会開催

編集後記 EDITOR'S NOTE

□今年、長雨、強風、大型台風による未曾有の自然災害が発生し、酪農経営に大きなダメージを与えました。自然と対峙する産業である以上、災害対策はなくてはならないものと痛感させられました。来年がどんな年になるかはわかりませんが、2017年が皆様方にとりまして実り多い年となることを心から願っております。本年も広報誌たんちょうの作成にあたり、御協力頂き誠にありがとうございました。

JAくしろ丹頂 年末年始日程表

年月日	各地区の事務所			販 売		家畜改良	生 乳	哺育育成センター	幌 呂 育成牧場
	管理・共済	金 融	営 農	鶴居・幌呂	白糠・音別	鶴居・幌呂 白糠・音別			
平成28年 12月24日(土)							通常業務		
12月25日(日)									
12月26日(月)									
12月27日(火)									
12月28日(水)									
12月29日(木)	業務納め		業務納め	一般市場（初生集荷） ・業務納め					
12月30日(金)		業務納め							
12月31日(土)						業務納め*			
平成29年 1月1日(日)									
1月2日(月)						業務始め*			
1月3日(火)									
1月4日(水)		業務始め		初生集荷・業務始め					
1月5日(木)				一般市場					
1月6日(金)	業務始め		業務始め						

年月日	購買・鶴居			購買・幌呂			購買・白糠		購買・音別		
	生活店舗	給油所	資 材	生活店舗	給油所	資 材	給油所	資 材	生活店舗	給油所	資 材
平成28年 12月24日(土)					午前のみ*						
12月25日(日)	午後5時まで								(抽選開始)		
12月26日(月)	(抽選開始)			(抽選開始)							
12月27日(火)											
12月28日(水)	年末大売出し			年末大売出し							
12月29日(木)			業務納め			業務納め		業務納め			業務納め
12月30日(金)				業務納め	業務納め						
12月31日(土)	業務納め*	業務納め*					業務納め*		業務納め*	業務納め*	
平成29年 1月1日(日)											
1月2日(月)							業務始め*				
1月3日(火)		業務始め			業務始め*						
1月4日(水)	業務始め 午後5時まで						午後6時まで		業務始め 午後5時まで	業務始め	
1月5日(木)	午後5時まで						午後6時まで		午後5時まで		
1月6日(金)			業務始め	業務始め		業務始め		業務始め			業務始め

*午前中のみ営業となります。 **営業日** **休業日** 1/6(金)は、全業務午後4時までの営業となります。金融ATMは平常営業をしております。

・万一、交通事故が発生した時は、フリーダイヤル(☎0120-258-931)に電話をして下さい。事故の受付とアドバイスをしてくれます。

◆鶴居地区の皆様へ

- ・生産資材に関することは、田村課長(090-7647-4585)に連絡して下さい。
- ・万一、配合飼料が無くなった時は、大松運輸(57-8388)もしくはホクレン(岩谷職員 090-7642-0725)に連絡して下さい。

◆幌呂地区の皆様へ

- ・生産資材に関することは、泉課長(090-7055-1541)に連絡して下さい。
- ・給油スタンドに関することは、泉課長(090-7055-1541)に連絡して下さい。
- ・万一、配合飼料が無くなった時は、全酪連釧路事務所(白石職員 080-5471-3655)か(岡田職員 080-6540-4620)に連絡して下さい。

◆白糠地区の皆様へ

- ・生産資材に関することは、大石課長(自宅6-2734 携帯090-1640-0376)に連絡して下さい。
- ・給油スタンドに関することは、給油所(2-2084)に連絡して下さい。
- ・万一、配合飼料が無くなった時は、幸永運輸(0154-57-2777)に連絡して下さい。

◆音別地区の皆様へ

- ・Aコープは1月4、5日は午後5時までの業務となります。
- ・生産資材に関することは、林課長(090-8905-1705)に連絡して下さい。
- ・万一、配合飼料が無くなった時は、幸永運輸(0154-57-2777)に連絡して下さい。
- ・給油スタンドに関することは、若狭係長(自宅 6-3707 携帯 090-4870-9101)に連絡して下さい。

◆人工授精業務、年末年始の対応について

- ・12月31日及び1月2日の人工授精業務につきましては、午前9時30分までの受付分(厳守)対応となりますので、よろしくお願い致します。